

## ●各家庭における「いじめ防止について」のアンケート結果報告レポート

### 子どもたちが、毎日楽しい学校生活を送るために

新聞、テレビでは相変わらず「いじめ」についての問題が報道され、その深刻さに親として自分たちの子どもはどうなんだろうと大変心配です。

どうしてこんなことになるまで誰も気がつかなかったんだろうとも思ったり、実際いじめを目の当たりにした時、親としてどうすべきなのか？

まず誰に相談すれば良いのかなど、不安もいっぱいです。

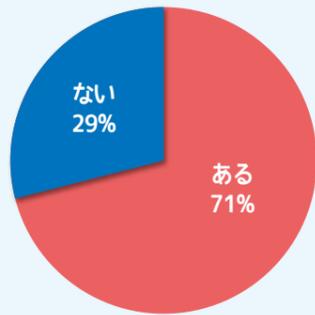
今回の特集では、そんな保護者の皆さんに「いじめについての各ご家庭でのおはなし」に焦点をあて、アンケート調査させていただきました。

ご協力、誠にありがとうございました。



# 「いじめ」について 考えよう。

### 問1 あなたのご家庭で、「いじめ」について話し合ったことはありますか？



いじめの問題でまず大切なのは、家庭においていじめについて話しをすることだと思います。

私たち保護者が、いつも子どものよき理解者であるために子どもの様子を観察し、よく話し合うことが一番大切です。子どもたちが一番安心する場所、それは自分の「家」です。その安らぐ場所に嫌な話題を持ちこみたくない、と思っているかもしれません。

思春期というとても難しい時期に差し掛かっている子どもたちですが、いじめを未然に防ぐためにはとても大事なことだと思います。

### 問2 問1で「いじめについて話し合ったことがある」を選んだ方にお聞きします。具体的に家庭でどんな話をしましたか？

- ・実際に学校でいじめはあるのか、あったのか
- ・いじめ、喧嘩などの状況について
- ・先生の対応について
- ・クラブの体罰について
- ・いじめをする側の気持ち、された側の気持ち
- ・思いやりについて
- ・親の中学時代の話、経験談
- ・自殺について、命について
- ・本当の友達とは、親友について
- ・テレビの報道を見て話してみる
- ・相手の気持ちを考えて行動する

「子どもの社会」には、子どもたちの暗黙の了解のようなルールがあったりします。「いじめられている友だちを助けると次のターゲットにされてしまう」とか「加害者であり続けることで被害者になることを避ける」などはその典型的な例かもしれません。

子どもたちもそれが間違っているとは思っていても、自分を守るために、見て見ないふりをしたり、加害者の一人として加わってしまったという事もあり、その根底に潜んでいる心理状況はさまざまで、ケースに応じて適切なアドバイスすることも必要です。

間違いをおこさないためにも、家における親子での話し合いはとても大切だと思います。それぞれのご家庭で、時折話題にされることは重要なことだと思います。

〈その他、各家庭でされた主なお話しの内容を下記にまとめてみました。〉

- 自分が実際にされたらどう思うか ○人に傷つく言葉は言ってはいけない 傷つく言葉を使った人は言ったことを忘れても、言われた人はずっと傷ついたまま
- 学校でいじめがあるのか、いじめられていないか ○いじめをしているか、されたことがあるか、見たことがあるか、見たらどうするかを話した
- 小学校の同級生が今どんな感じが聞いた ○いじめを見たり聞いたことがあるか、自分はされたことはないか
- 一人ぼっちでいる子に声をかけない(仲間はずれにしない)という話をしたり、人の悪口を友だちに言わないなど
- いじめて見て、見ないふりをしない ○何気ない言葉が人を傷つける時もある



思いを伝える。  
キモチがつながる。

### 中学生の皆さんにつけてほしい力

1. 考え方に違いがあることを認める力
2. 交渉して、折り合う力
3. 困ったとき、誰かに相談する力

トラブルがあったときは、  
人生を学ぶチャンスです

### 親のできること

子どもに何があっても大丈夫！  
あなたのことが大好き!と伝えることが大切です。  
子どもに相談されたとき、  
怒ったりだり、怒鳴り込んだりする前に、  
ちょっとだけ深呼吸して、まずはじっと話を聞いてみましょう。  
じっと聞いてもらうだけで、人は「安心感」を覚え  
『自分を信じてくれている』と実感します。  
子どもの成長する力を信じましょう。

### 気持ちいいコミュニケーションのための裏技

1. 深呼吸をする
2. その場から、逃げる。離れる。
3. 自分に「大丈夫」って語りかける。
4. 心の体力をつける。
5. 傾聴のスキルを習得する。  
・目と目を合わせる ・前に身を乗り出す  
・体の向きをあわせる、おへそをあわせる  
・あいづちを打つ ・オウム返しをして話しを聞く
6. アイメッセージで伝える

### 問3 いじめのおこらない中学校を作るために、あなたの子どもに実行してほしいことを教えてください。

#### 多かった意見

- ・相手の気持ちになって考える
- ・感謝の気持ちを忘れない
- ・友だちの良いところを見つける
- ・家族や友だちを大切に
- ・自分勝手な行動をとらない
- ・人の話に耳を傾ける
- ・今を大切に生きる
- ・思いやりの心
- ・誰に対しても同じように接する
- ・優しい心
- ・自分を素直に表現する
- ・嘘をつかない
- ・何事にも一生命に取り組む
- ・笑顔を心がける
- ・人の痛みに気づく
- ・決めたことを達成させる
- ・自主性と主体性を持って生活する
- ・自分や友だちを大切に
- ・あきらめない気持ち
- ・人の良いところを見つける
- ・善悪の判断をつける
- ・友だちの良いところを見つけよう
- ・自分で考えて行動できるように
- ・向上心を持ってがんばる
- ・時間を守って行動する
- ・自分がやられて嫌なことはやってはいけない
- ・人にはやさしく接すること
- ・人に迷惑はかけないこと
- ・落ち着いて行動する
- ・今、本当にやらなくてはいけないことは何か、よく考えて実行する
- ・自分勝手なことをしない
- ・人の心も体も傷つけてはいけない
- ・命を大切に
- ・気配り、目配りの出来る子
- ・良好な人間関係
- ・楽しく
- ・困っている人がいたら手助けする

### おわりに

中学生になったとはいえ、まだまだ未熟な子どもたちです。子どもたちは、大人と一緒に考え、答えを探し、見つかった答えを体現することで成長していくものです。

かつて私たちも中学生でした。しかし時代は変化します。私たちの経験や価値観を押し付けて話し合うのはいけないかもしれません。

大人になった私たちは、つい日々の生活に追われ「言えば伝わる」「怒れば伝わる」と思いがちです。

「子どもと一緒に考えて考える」ことを忘れていないかもしれない私たちは、子どもの気持ちを最優先にしてもう一度考えてみる必要があるかもしれませんね。